

議会の動きをみなさまにお伝えします

# 加西市議会だより



稽古を重ね、いざ舞台へ  
1年間の稽古を経て、本番を迎えるこども狂言塾生

## 平成30年度予算を可決しました (P2~3)

- 質疑 (P4)
- 委員会審議 (P5~6)
- 一般質問 (P10~14)
- 行政視察実施報告 (P15)

# 5

2018  
NO. 155

# 平成 30 年度予算を可決

総務

建設経済厚生

3月議会では、一般会計（201億5,000万円）、国民健康保険・介護保険などの特別会計、上下水道・病院などの企業会計を含む、総額434億6,251万4,000円の平成30年度予算案が提案されました。

総務委員会と建設経済厚生委員会において、3日間にわたり慎重審議を行い、原案のとおり可決しています。その主な審議内容は以下のとおりです。

## 一般会計

### 交付金



**問** ひょうご地域創生交付金について。

**答** 平成30年度から新たに兵庫県で創設される交付金で、県内各市町の地域創生戦略に基づいた取り組みなどについて、費用の2分の1が補助され、限度額は、市は1億5,000万円です。平成30年度で5,000万円を、産業団地の実施設計費用に充てています。

### 市税



**問** 法人市民税が増収見込み、固定資産税が減収見込みとなっている理由について。

**答** 法人市民税については、平成29年中の全ての月で法人税割の伸びが確認できていることに加え、兵庫県の経済雇用情勢のデータから平成29年度は県内企業の多くで経常利益が平成28年度を上回る見込みであり、さらに加西市を含む東播磨地域の倒産件数が非常に減り、また一時期、阪神地区を上回る有効求人倍率もあったことから、伸びを見込んでいます。

固定資産税については、平成30年度が評価替えの年に当たり、土地は、引き続き下落傾向が続いており、国県の公示価格や鑑定評価額から判断し、平成28年度比平均1.5%の減少、家屋についても、過去3回の評価替えの平均下落率から5%程度下落を見込み、さらに新築件数の伸びもないことから減収を見込んでいます。

### ふるさと創造会議

**問** ふるさと創造会議の将来的な方向性について。

**答** 行政が行う業務の一部を、地域が担うことも考えられます。先進自治体では、公民館の管理や生活支援対策として、特に過疎地域では、地域に店がなく販売所の経営を行っているところもあります。その地域の状況に応じ、必要とする最善のものを選びながら、まずは、優先課題に取り組んでいただくことが必要と考えています。



### 観光

**問** 観光の取り組みについて、費用を投じるだけではなく、観光で稼ぐ取り組みも必要ではないか。

**答** 滞在型観光バスツアーについては、旅行会社を通じて、観光客に加西市を知ってもらうための情報発信ができるため、このような投資は必要と考えています。また、現在、策定中の第2次観光推進基本計画では、観光で稼ぐという視点を入れ策定しています。



### 自主防災

**問** 自主防災訓練について、どのような訓練方法を検討されたのか。

**答** 図上訓練が一巡し、平成30年度においては、従来型の会場型訓練への移行を考えています。これまでのような、ただ繰り返しだけのものではなく、避難の方法や要援護者の救助などトータル的に考えて、どういった訓練が最適であるかを検討していきます。



### 就労支援

**問** 就労支援等の相談に対応する人員体制について。

**答** それぞれ分野ごとに相談支援員を配置しています。相談件数は非常に多くなっていますが、スタッフが不在であったり、人員が足りなくて業務が滞っているという現状ではありません。

### 人口増施策

**問** 若者世帯定住促進住宅補助や新婚世帯向け家賃補助について、Uターン促進補助金などとともに若者定住促進という人口増施策と位置付けて、さまざまな施策や制度を知ることができたり、手続きも簡単に進められるよう、窓口を一本化してはどうか。

**答** 当初は若年労働者の確保が目的でしたが、人口増対策ということもありますので検討したいと考えます。



## 農地集積

**問** 農地集積協力金について、どのような仕組みになっているのか。

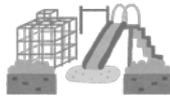
**答** 農地中間管理機構の制度を使っただけの集積に限られており、受け手側が認定農業者もしくは法人の組織ということで、任意の営農組織では利用できません。

## 産業団地

**問** 加西インター周辺地域での産業団地整備事業について、どのような補助事業を使って行うのか。

**答** 補助事業ではなく、農村産業法に基づく土地利用調整により、優良農地を新たな産業団地にすることについて県と調整しています。

## 公園整備



**問** 丸山総合公園整備工事について、どのように整備を進めようとしているのか。

**答** 社会資本整備総合交付金を使って、LEDソーラーやカラー舗装を整備しますが、修繕は交付金の対象にならないため、痛みの激しいものについては、撤去することも検討したいと考えています。

## ごみ処理



**問** ごみ処理の広域化について、今後も一定のコスト削減の効果で続いていくのか。

**答** 旧滝野町のごみも受け入れることになり、小野、加東、加西の3市が完全に一緒になったことで長期的な補修計画が安定して組めることとなりました。今後10年、15年はより一層安定的に経営できると見込まれ、効果についても安定して続くと考えています。

## 就学援助

**問** 就学援助奨励費補助金の支給時期について。

**答** 平成31年度入学生の入学準備用品費について、入学前の平成31年3月に支給します。

## 国民健康保険特別会計

**問** 保険給付費が大きく増えた場合に、財源の不足分は県から措置されることになるのか。

**答** 年度途中で医療費が増加して財源が不足した場合は、県の予算で対応することになります。予算を超過した場合は、県が財政安定化基金を取り崩し、給付費を支払うことになります。この場合は、貸し付けとなり、

借り受けた額が翌年度以降の納付金に上乗せされて基金に償還するという仕組みになりますので、その分は保険税として徴収することになります。

## 介護保険特別会計

**問** 介護人材確保の具体的な手立てについて。

**答** 事業所への監査の際に、安定して仕事ができる環境にあるのかどうか、事業所内の福利厚生や研修体制、勤務体制などの状況を確認し指摘しています。また、外国人の雇用を検討している事業所もあります。平成30年度からは事業所と連絡会を持ち、どのような制度が必要かを話し合っていきたいと考えています。

## 水道事業会計

**問** 最終損益が純損失となっていることについて。

**答** 水需要は減少するという予測を立てていましたが、実績として、工場用も家庭用も使用水量が伸びている状況です。平成30年度にかけても、この傾向が続くと考えますので、予算上はマイナス計上ですが、最終的には黒字になると予測しています。



## 病院事業会計

**問** 医業収益に対する給与費の比率が高いが、最終的に医業収益が下がるなどして比率がさらに上がることはないのか。

**答** 患者数の動向を見ながら、適正な職員数を勘案して対応していく予定です。また当初予算で見込んでいた看護師数から追加で減員を予定しており、平成29年度のように収益が下がって、経費がそのまま残ることがないように対応していきたいと考えています。

**問** 3億円の補助金の補正予算を議論してきた中で、高額な電子カルテの更新について、分割での更新や経営の立て直し後に実施するということがないのか。

**答** これまで使用してきた端末機も更新年数を通常より遅らせるなどしています。今回はハードの更新を中心にして、ソフトは従来のを引き継ぐことで費用を圧縮しています。また更新によりクレジットカードでの支払いが可能になるなど、患者の利便性向上も考えています。



3月定例会で提案された議案に対し、5名の議員が質疑を行い、不明確な点を問い、説明を求めました。主なものを紹介します。

## 議案第1号 農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて



森元 清蔵 議員  
(21 政会)

**問** 今回9人の委員が選定されているが、この選定経緯をお尋ねする。

**答** 農業委員は、従来の公選制を廃止し、市議会の同意を得て、市長が任命します。市長は、農業者、農業者が組織する団体、その他の関係者に対し、候補者の推薦を求めると共に、農業委員になるようとする者の募集を行い、その結果を公表します。平成30年1月5日から2月2日まで募集を行い、10名の応募がありました。うち8名が推薦を受けての応募で

す。推薦団体は、区長会、JA兵庫みらい、加古川西部土地改良区、加西市集落営農組織連絡協議会、認定農業者団体などです。選考委員会を設置し、認定農業者が過半数を占めること、利害関係を有しない者が含まれること、年齢、性別などに偏りが生じないこと等に配慮しながら、候補者の推薦、応募理由などを審査し候補者を決定しました。

**問** 今後は、認定農家がリードする方向に農業委員会として力を入れていくと思うが、小規模農家の声も農業委員会に反映することも必要と思う。今後の新たな農業委員会の運営についてお尋ねする。

**答** 6月2日から農業委員9人と農地利用最適化推進委員15人で運営していくこととなります。農業委員に、地域農業に積

極的に取り組んでいる認定農業者が就任することで、将来的に広範囲の集積を見据えた意見を反映させることとなります。ただ認定農業者の意見だけでなく、農地利用最適化推進委員も、担当地域の実情や一般農業者の意見を会議に出席して述べるすることができます。認定農業者以外の中立者、女性、若者の農業委員の意見も反映されることから、幅広い意見が交わされると考えます。農業委員会の運営の方向としては、農地利用の最適化、農地の集積等の推進が最も重要な事務であることから、認定農業者への集積を見据えた農地集積の方向になっていきます。農地の集積に向け、農業委員と農地利用最適化推進委員が意見を交えることで、農地のよりよい集積に向けて協議できる場となるよう努めたいと考えます。

## 議案第35号 平成29年度加西市一般会計補正予算(第7号)・ 議案第41号 平成29年度加西市病院事業会計補正予算(第1号)について



深田 真史 議員  
(市民連合)

**問** 平成28年度の3億円追加支援以降、市長が指示した経営改善の具体的な内容は。

**答** (市長) 基本的に9億円の繰出金で経営してほしいというのが市の考え方です。その中で、病床機能の変更等、経営の方向性については、事業管理者、院長と議論しながら定め、こちらから一方的に指示はしていません。

**問** 2回目の3億円の追加支援にあたり、具体的な改善内容は。

**答** (市長) 私が一方的にこうしなさいと指示することだと思いません。事業管理者に経営権・人事権をお任せしており、経営が好転するようやっていく責任は事業管理者にあります。2年追加支援することになり、看護師数や病床数をどうするかを含めた議論を今しております。

**問** 職員数の適正化について、この1年でどのような努力をしたのか。

**答** 今後は看護師や介護福祉士、介護助手のバランスをとりながら、コストパフォーマンスの高い人材配置に努めていきます。

**問** この1年で病院スタッフの給与体系や諸手当は見直しをしたのか。



**答** 給与カット等は行ってはおりません。経営改善した他の病院では、職員給与のカットに踏み込んだ病院は非常に少ないと聞いています。職場のモチベーションが下がり、患者も受け入れられなくなり、人間関係やコミュニケーションが悪くなったと聞いています。



**問** 病院事業管理者兼病院長としての経営責任は。

**答** (病院事業管理者) 多くの職員の協力を得ながら改善を図ってきましたが、29年度前半の入院患者数が非常に少なく、大きな赤字を出してしまったことは私の責任だと思います。平成30年度は、繰入金で9億を超えないよう努力していきます。

上程された議案は、それぞれ所管の総務委員会と建設経済厚生委員会に付託し、審議を行いました。

## 指定管理

議案第 2 号 加西市立コミュニティ供用施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第 24 号 指定管理者の指定について  
(繁陽地区コミュニティ供用施設)

青野ヶ原演習場等周辺設置助成事業により、新たに加西市立コミュニティ供用施設として繁陽地区コミュニティ供用施設を設置し、当該地区の区長に指定管理を任せようとするもの。

**問** 新しく施設が建った後の、古い施設の取り扱いと活用について。

**答** 古い施設は取り壊さず残し、地域の倉庫等に活用することで、防衛省の了承を得ました。



**問** 青野ヶ原周辺整備の区域について。

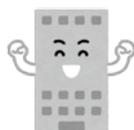
**答** 区域については、駐屯地から何キロであるとか、隣接とかという明確な規定はなく、その都度、防衛省と協議し決定します。

## 産業振興

議案第 15 号 加西市産業振興促進条例の一部を改正する条例の制定について

市内産業団地等への立地を促進するためであった特例措置を、産業団地以外の区域での事業の新規取り組みや拡張を支援するため、市内全域に適用しようとするもの。

**問** 特例措置を市内全域に広げるにあたり、現在の市内企業の実況について。



**答** 企業へのアンケート結果では、36 社が拡張を希望され、42 社が新設・新築を希望されています。また、加西地区は特殊で専門的な業種が多く、業績が好調だという銀行の意見も聞きながら確認しました。

**問** 投資の規模も見直さなければ、中小の地元企業が活用しにくいのではないかと。

**答** 中小・小規模事業者については、税制面での優遇措置など国の支援制度が充実しています。市も退職共済補助、融資の利率補助、保証料の補助等を行っています。規模が大きく違うものを一律に支援するのは難しく、小規模事業者対策と、牽引事業をする企業対策という形にしています。

## 農業委員会

議案第 30 号 農業委員会委員の過半数を認定農業者等又は認定農業者等に準ずる者とするについて

加西市農業委員会委員の任命にあたり、委員の過半数を認定農業者等又は認定農業者等に準ずる者としてしようとするもの。

**問** 加西市の現状に合った農業委員会構成にするために、募集に際しての広報や意識啓発は、もっと広く行ってもよかったですのではないかと。

**答** 募集に当たっては、市広報や代表農会長会等、機会あるごとに広報を行ってきました。国の制度どおり 1 カ月間の募集期間を設けましたが、中間地点で応募者ゼロという状況であったため、加西市を代表する農業者グループとして加古川西部土地改良区や J A 等にも働きかけを行いました。



## 鶉野飛行場跡地

議案第 32 号 鶉野飛行場跡地備蓄倉庫建築工事請負契約の締結について

鶉野飛行場跡地備蓄倉庫建築工事について、契約を締結しようとするもの。

**問** 備蓄倉庫の今後の使い方や展開について。

**答** 基本的には防災備蓄倉庫ですが、観光面での活用も考え、当時の飛行機の格納庫のデザインとしているので、この地区の中心となるような大きなモニュメントとなり、またデッキから飛行場が見えるように整備していきたいと考えています。



**問** 木造になった経緯と、面積の算定について。

**答** 当時の格納庫が木造であり、また姫路市に現存しているもののデザインを取り入れました。面積は、倉庫いっぱいには備蓄物を入れるのではなく、内部で作業するスペースを考慮し算定しました。

## 公共施設

### 議案第 34 号 財産の取得について

(仮称) 泉こども園・北部公民館整備事業用地を取得しようとするもの。

**問** 地域において、残された園舎を利活用したいという要望もあるが、公共施設等適正管理推進事業債による事業で、旧園舎はなくなってしまうのか。

**答** この起債の対象となる施設については、旧の保育所の面積を計上していますので、西在田幼稚園、宇仁幼稚園、日吉幼稚園、泉幼稚園の施設については残ります。学童保育等、今後の活用を検討したいと考えています。



**問** 公共施設等総合管理計画においては、4つの公民館は現状維持という計画であるが、なぜ北部公民館だけ新たに建てるのか。

**答** 老朽化する北部公民館の建て替えについては、地形的な条件から現在の場所での建て替えではなく、新たな場所への移転が現実的で、(仮称) 泉こども園の建設予定地と一体的な土地利用が図られ、また用地取得について効率的に行えることから用地購入に至りました。

**討論【反対】** 今、国も公共施設を集約することに重点を置いており、幼保の施設を泉こども園として集約することは賛成であるが、公民館も建てるということであれば、複合化し、1つの施設として建て、公共施設等適正管理推進事業債を活用し、市の支出を少しでも減らすような努力をすべきである。

**討論【賛成】** 北部公民館の用地を別に時期を変えて購入することは、非常に難しい。土地の持ち主の理解を求めて承諾を得るに当たっては、町の歴代の区長による協議や、また町での会議を何度も重ね、慎重審議されたということであり、この際、この用地を購入することは良策である。

## 補正予算

### 議案第 35 号 平成 29 年度加西市一般会計補正予算 (第 7 号) について

### 議案第 41 号 平成 29 年度加西市病院事業会計補正予算 (第 1 号) について

#### 一般会計【歳出】

・保健衛生総務費 (3 億円)

経営支援のための病院事業会計補助金の増

#### 病院事業会計【収入】

・収益的収入 (3 億円)

経営支援による一般会計繰入金の増

**問** 病院運営の今後の方向性について。

**答** 地域住民が求める医療は、急性期が終わった後、しっかりと回復して在宅へ戻るための十分なりハビリも含めた療養できる身近な病院であることを再認識し、急性期と地域包括ケアのミックスした、一定の医療水準を維持できる病院としていきたいと考えています。



**問** 業績が悪ければ、市が助けてくれるという甘い考えを払拭するために、市からの繰り出しを補助金ではなく貸し付けとし、病院自体が借り入れし、返済しなければならないという方法にできないか。

**答** 市としては、補助金として繰り出しして、平成 30 年度はしっかりと頑張ってもらいたいと考えています。

**討論【反対】** 病院自体が新たな方向に進んでいっていただきたいために、補助金ではなく、貸付金とすべきである。

**討論【賛成】** 地域包括ケア病棟の設置等も含めて、方針転換していくという方向が打ち出され、その改善を期待するとともに、地域の総合病院としての機能も大事であるので、この一番大変な時期に支援することは重要であり、今後も繰り入れを行って、力を合わせて病院を守っていくことが非常に重要である。



# 討 論

討論とは、表決の前に賛成か反対かの自己の意見を表明することです。

## 議案第 42 号 平成 30 年度加西市一般会計予算について

可決（賛成 10、反対 4）

北条鉄道交差施設整備事業では、交差施設の整備により乗客数増加となる根拠データもなく、これまでの勘によって事業を決めたといった答弁もあった。このような考え方で大切な税金は使えない。また、播磨国風土記事業について、他の文化、芸術やスポーツ等において研鑽を重ねる子供たちにも目を向けるべきで、偏った税金の使い方ではなく、市内の子供たちに平等に使うべきである。

反対



黒田秀一 議員

地域の公共施設は、行政と地域住民が協同協力して生かし、問題が出ればしっかりと話し合い、合意をつくっていくことこそが極めて大事であり、早急に結論を出すなど、いたずらにその事業を急ぐべきものではない。それは結局、地域社会の弱体化を進めてしまう。現在の事業の進め方は残念である。この立場から、幼稚園の統廃合を進めようとしていることに関連し反対するものである。

反対



井上芳弘 議員



長田謙一 議員

賛成

北条鉄道の列車交差設備の整備の実施設設計の予算であるが、これにより阪神間に勤務する方にとって利便性が高まり通勤客増加が見込める。播磨国風土記事業については、郷土に誇りを持つ子供たちの育成は、行政また我々議員の務めである。この誇り高き事業を野村萬斎氏、能楽笛方藤田六郎兵衛先生に加西市で指導していただけることは、加西市の文化発展に重要である。



中右憲利 議員

賛成

播磨国風土記事業について、1300 年祭を機にできた野村萬斎さんほか能狂言の超一流のプロの方々とのご縁を大切に、また年々腕を上げていることも狂言塾の塾生たちにもっと活躍してもらいたいと思う。費用をカットするのではなく、その費用で他の自治体とも連携し、市内での活動もパワーアップさせて、より効果的に新しい文化を加西市に根づかせるような工夫をしていただきたい。



森元清蔵 議員

賛成

北条鉄道の交差施設整備は、通勤、通学をもっと便利にするための願であった。通勤乗客が増加するデータも本日出されており、各駅の活性化や鶴野飛行場跡の整備により、乗客数増加の効果も十分に予測される。便数が増加することで、乗客も増加することは明らかである。こういった中で、当然、調査費用、実施設計費用をつけながら今後の工事着工に向けて頑張っていかなければならない。



織部 徹 議員

賛成

北条鉄道設備等整備について、ホテル建設が市街地にされているのは、公共交通を利用する宿泊客があることを見込んでのことと推察する。それならば北条鉄道を利用する宿泊客があるということも大いに考えられ、朝夕には阪神間や姫路方面へのアクセスで、加古川線との便利な連絡が求められる。播磨国風土記事業については、すばらしい加西能やこども狂言を続け、加西の情報を発信することは意味がある。

## 議案第 34 号 財産の取得について

可決（賛成 11、反対 3）

用地提供に感謝し、社会教育、公民館の必要性は理解している。しかし、総合計画と連動した公共施設等総合管理計画には、4 公民館は現状維持するとしている。その計画を無視し市全体の公共施設の議論もない。建設をするならば、市の最上位に位置づけられる総合計画や連動する計画を廃止、または変更すべきである。また、複合施設での検討や建設費用、将来的な見通しや具体的議論のないままの用地取得は、将来の負担を大きくするだけである。

反対



丸岡弘満 議員

議案第 35 号 平成 29 年度加西市一般会計補正予算（第7号）について  
 議案第 41 号 平成 29 年度加西市病院事業会計補正予算（第1号）について

可決（賛成 9、反対 5）

一般会計から加西病院へ長期貸付する修正案を準備していたが、議会による修正の限界を超えているため、この原案には反対とする。今や病院問題は一般会計にまで飛び火をし、財政調整基金も底が見えるような状況であり、加西市の財政を大きく揺るがす深刻な事態となっている。それでもなお、経営改善できる見込みがあるのであれば、3億円を病院に単にあげるのではなく、貸したお金は返してもらうという強い姿勢で臨むべきである。

反対



深田真史 議員

病院事業の運営責任は設置者である加西市にあると考える。加西病院の経営状況については、予算の議決、決算の認定をしてきた私たち議員にも責任はあると感じている。3億円の追加繰入については、貸し付け、または病院独自で借入れを行うことによって、意識が変わってくると思う。現在、地方公営企業法の全部適用だが、職員の意識が変わらない限り、独立した経営はできないと考える。

反対



松尾幸宏 議員

議案第 32 号 鵜野飛行場跡地備蓄倉庫建築工事請負契約の締結について

可決（全会一致）



原田久夫 議員

賛成

鵜野飛行場跡地は、ほぼ兵庫県を中心に位置し、道路整備も計画されていることから、大災害が発生した場合には防災中継基地として災害時の資材、救援物資の集積場、輸送基地として利用でき、今回の備蓄倉庫も重要な防災拠点施設になると考える。地域と一体となり事業を進め成功させてほしい。また、この鵜野飛行場跡地の戦争遺産である滑走路から全国へ平和の願い、思いを発信していただきたい。

## 第 269 回 加西市定例会議決結果一覧

平成 30 年 2 月 28 日～ 3 月 26 日

### ■全会一致で同意、可決した議案

議案第 1 号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
議案第 2 号	加西市立コミュニティ供用施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 3 号	加西市消費生活センター条例の制定について
議案第 4 号	加西市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 5 号	加西市情報公開条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 6 号	加西市債権管理条例の制定について
議案第 7 号	加西市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 10 号	加西市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 11 号	加西市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 12 号	加西市老人憩いの家の設置に関する条例を廃止する条例の制定について
議案第 14 号	加西市農業共済条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 16 号	加西市土地改良事業等分担金徴収条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 17 号	加西市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 18 号	加西市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 19 号	加西市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 20 号	加西市開発調整条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 21 号	加西市生活排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 22 号	加西市立幼稚園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 23 号	加西市学童保育園の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 24 号	指定管理者の指定について（繁陽地区コミュニティ供用施設）
議案第 26 号	第 5 期加西市障害福祉計画の策定について
議案第 27 号	加西市農業共済事業会計事務費の賦課総額及び賦課単価を定めることについて
議案第 28 号	畑作物共済に係る危険段階基準共済掛金率の設定について
議案第 29 号	園芸施設共済に係る危険段階基準共済掛金率の設定について
議案第 30 号	農業委員会委員の過半数を認定農業者等又は認定農業者等に準ずる者とするについて

議案第31号	市道路線の変更について
議案第32号	鶉野飛行場跡地備蓄倉庫建築工事請負契約の締結について
議案第33号	加西市都市計画マスタープランの中間見直しについて
議案第36号	平成29年度加西市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について
議案第37号	平成29年度加西市介護保険特別会計補正予算(第3号)について
議案第38号	平成29年度加西市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について
議案第39号	平成29年度加西市公園墓地整備事業特別会計補正予算(第1号)について
議案第40号	平成29年度加西市下水道事業会計補正予算(第1号)について
議案第46号	平成30年度加西市公園墓地整備事業特別会計予算について
議案第47号	平成30年度加西市農業共済事業会計予算について
議案第48号	平成30年度加西市水道事業会計予算について
議案第49号	平成30年度加西市下水道事業会計予算について
議案第51号	鶉野飛行場跡地備蓄倉庫建築工事請負変更契約の締結について

■ 賛否の分かれた議案 (採決順に掲載)

○…賛成 ×…反対

議案	深田真史	丸岡弘満	原田久夫	中右憲利	長田謙一	衣笠利則	松尾幸宏	植田通孝	黒田秀一	井上芳弘	三宅利弘	森元清蔵	織部徹	森田博美	土本昌幸	議決結果
議案第8号 加西市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	○	○	○	○	○	原案可決 (賛13、反1)
議案第9号 加西市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	○	○	○	○	○	原案可決 (賛13、反1)
議案第13号 加西市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	○	○	○	○	○	原案可決 (賛13、反1)
議案第15号 加西市産業振興促進条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	○	○	○	○	○	原案可決 (賛13、反1)
議案第25号 加西市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の策定について	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	○	○	○	○	○	原案可決 (賛13、反1)
議案第34号 財産の取得について	×	×	○	○	○	議長	○	○	○	×	○	○	○	○	○	原案可決 (賛11、反3)
議案第35号 平成29年度加西市一般会計補正予算(第7号)について	×	×	○	○	○	議長	×	×	×	○	○	○	○	○	○	原案可決 (賛9、反5)
議案第41号 平成29年度加西市病院事業会計補正予算(第1号)について	×	×	○	○	○	議長	×	×	×	○	○	○	○	○	○	原案可決 (賛9、反5)
議案第42号 修正案 平成30年度加西市一般会計予算に対する修正動議	○	○	×	×	×	議長	×	×	○	×	×	×	×	×	×	修正案否決 (賛3、反11)
議案第42号 平成30年度加西市一般会計予算について	×	×	○	○	○	議長	○	○	×	×	○	○	○	○	○	原案可決 (賛10、反4)
議案第43号 平成30年度加西市国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	○	○	○	○	○	原案可決 (賛13、反1)
議案第44号 平成30年度加西市介護保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	○	○	○	○	○	原案可決 (賛13、反1)
議案第45号 平成30年度加西市後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	○	○	○	○	○	原案可決 (賛13、反1)
議案第50号 平成30年度加西市病院事業会計予算について	×	○	○	○	○	議長	○	○	×	○	○	○	○	○	○	原案可決 (賛12、反2)

## 3月定例会

# 一般質問

3月8日、12日の本会議では、10名の議員が一般質問を行い、市政全般にわたり活発な議論が展開されました。主なものを紹介します。(発言順に掲載)

審議の様子は、インターネット中継や会議録検索システム（5月下旬掲載予定）にてご覧いただけます。



## 加西病院の経営形態見直しについて



松尾 幸宏 議員  
(自民の風・誠真会)

**問** 平成28年度に続き、病院会計へ3億円の追加繰り出しが補正予算案で上程されているが、加西病院の経営改革はまさに喫緊の課題である。経営改革の一環として加西病院は平成21年12月に、地方公営企業法全部適用となったが、経緯と改善内容についてお尋ねしたい。

**答** 平成19年に総務省から公立病院改革ガイドラインが出され、加西市では「市立加西病院のあり方検討委員会」が設置さ

れました。そして平成20年3月に公設公営により現状の延長線上で経営改革を進め、全部適用を速やかに採用することの答申が出されました。これに基づき、地方公営企業法を全部適用する運びとなりました。全部適用では、加西市が開設者ですが、人事権や経営権は市長が任命した事業管理者に委ねられ、民間の医療法人に近い経営形態となります。しかし全部適用においても予算、決算は市長の承認を得て議会の可決が必要です。

**問** 平成20年3月の答申には、「公設公営による経営が難しいと判断された場合には、地方独立行政法人の非公務員型を目指していくべきである」と記されている。総務省のガイドラインにも、経営の効率化、再編ネットワーク化、経営形態の見直しが課題とさ

れ、全国での取り組みとして、北播磨総合医療センターへの再編等が取り上げられ、地方独立行政法人化による経営改善の例も掲載されている。加西病院においても、より病院の権限が増し、弾力的な経営ができる地方独立行政法人化に取り組んではどうか。

**答** 現在、全国893の公立病院のうち、全部適用は365病院、一部適用は369病院、独立行政法人は81病院で全体の約9%です。全部適用の中で、事業管理者の権限を最大限行使し、できる改革は徹底的に行い、それでもなお立ち行かない、組織を変える必要があると判断された場合、地方独立行政法人化を具体化させることになるかと考える。現経営形態で経営の効率化を図り、住民の求める医療ニーズに十分応えられるよう努力していきたい。

## 加西市の福祉政策について



中右 憲利 議員  
(21 政会)

**問** 障がい者の就労訓練と工賃アップの取り組みについて。

**答** 市役所内の軽作業等は業務委託しており、工賃換算は1時間当たり約250円です。今後、訓練事業の内容を精査し、1時間当たり300円を目標に引き上げを考えています。また、身体障害者福祉協会では自主事業としてトウモロコシ栽培を検討されていますが、そのような場を活用させていただいて、市役所で行えないような就業訓練を実施し、正規の最低賃金を目指そうと考えています。

**問** 障がい者の皆さんが、市役所で昼休みにコーヒー、パンなどを販売されているが、市民会館、福祉会館、加西病院でも食堂等がなくなっており、就労支援として障がい者の方に何かしてもらえないか検討してはいかがか。

**答** 接客訓練、販売経験等就業訓練として、市役所でコーヒー等の販売をしていただいています。それを拡充できるかどうか、各団体と協議し、管理する部署とも調整したいと考えます。

**問** 子どもの貧困対策の現状について。

**答** 子どもの貧困対策については、貧困の連鎖を断ち切るため、学習支援に努めています。生活困窮世帯等で、不登校等の児童生徒については、家を出ることからはじめ、最終的には学習する

ことを念頭に置きながら取り組んでいます。学習支援の場合は、毎週1回地域交流センターで行っており、他市に先駆け県下でも評価される取り組みとなっています。

**問** 格差が出やすいのが、高校進学から卒業のときかと思う。市として何らかのサポートを計画すべきと思うがいかがか。

**答** 国も生活保護の範疇で、大学進学や高校進学について一定の支援を行っていますが、市としては、現行の公的支援がない部分について、他市町の取り組み等を参考にしながら、今後、施策を検討したいと考えます。

### ■その他の質問項目

- ・ 主要道路等の整備
- ・ 観光施策
- ・ 北条旧市街地の活性化

## おもちゃ図書館について



織部 徹 議員  
(21 政会)

**問** 近年、少子化で子供が一人、または二人の家庭が多くなっているように思う。例えば、男の子と女の子の二人いる家庭では、おもちゃの種類が男の子と女の子と異なり、高い値段で購入しても、あまり使わないまま捨ててしまうことになる。しかし捨てるとなると面倒でもあるし、大変もつたいないことにもなる。このおもちゃを何とかうまく再利用できれば、子育て支援のためになると考える。不要となったまだ使えるおもちゃを集め、必要とする

子供に貸し出すこと等を行う、おもちゃ図書館を実施することができないかお聞きしたい。

**答** おもちゃ図書館は、日本では国際障害者年の1981年東京都三鷹市で活動が始まり、83年におもちゃ図書館全国連絡会が結成されたようです。もともと、障がいのある子供たちに「おもちゃのすばらしさと遊びの楽しさを」という願いから始まった活動で、現在では障がいがある子供もいない子供も、共に遊びの中で育ち合う場や機会の提供、また、おもちゃそのものを貸し出したりしています。現在、加西市ではこのような事業は展開しておりませんが、議員ご提案の趣旨を鑑み、実施主体や担当課、また、おもちゃの収集やその活用等、具体について検討したいと考えます。

**要望** まだ使えるおもちゃを集めて貸し出したり、または譲ったり、そのような活動を行うためには、おもちゃを消毒し、メンテナンスや修理等も行わなければならない。さらに、種類別に見本も並べておく必要もあることや、保管場所も必要になってくると思う。今後、こども園などの整備が進む中で、空きとなる施設もあることから、これらも検討していただきたい。



### ■その他の質問項目

- ・ 県道の整備について
- ・ 新南部給食センターの建設について

## 県道整備関係・南部給食センター関係について



原田 久夫 議員  
(21 政会)

**問** 県道三木穴栗線加西地区の歩道整備について。

**答** 加東土木事務所からは、年次計画は特にないとのことでしたが、損傷が激しい危険な箇所については、通常の維持管理を個々にしっかりと対応していくとのことでした。市からも県へしっかりと要望します。

**問** 県道高砂加古川加西線改修計画について。

**答** 加東土木事務所としては、この路線の危険性は十分認識し、道路拡幅により安全性の確保が必要と考えているとのことでした。しかしながら、今のところ計画が無いことから、市としては、次期の社会基盤整備プログラムにしっかりと載せていただくよう、今後ともしっかりと要望します。

**問** 新南部給食センターの概要について。

**答** 設置場所は、上宮木町の加古川西部土地改良区西隣の農村環境改善センター用地に設置します。鉄骨2階建て、延べ床面積1,460平方メートル程度を予定しています。また調理能力としては2,000食を予定しています。南部学校給食センター完成後には3つの単独調理校を北部と南部にそれぞれ統合し、平成31年4月から2センター方式とし、受配校を

再編したいと考えています。

**問** 南部給食センターの跡地利用について。

**答** 新たな給食センター開設後、31年度に解体予定で、跡地については、普通財産として教育委員会から市長部局のほうへ所管換えになります。跡地利用について教育委員会としては、社会教育としての要望、需要を踏まえた活用をお願いしたいと思っています。

市長部局としては、先ほど教育長が答弁しましたように、社会教育での活用、市全体の活用、地域の方々のご要望、意見等総合的に判断したいと考えます。

### ■その他の質問項目

- ・ 鷲野飛行場線及び市道整備関係
- ・ 防災・消防関係

## 公共交通（ねっぴ〜号・はっぴーバス）の運営について



三宅 利弘 議員  
(21 政会)

**問** 直近の運行状況は。

**答** コミバスねっぴ〜号の運行便数は、1日当たり市街地線が11.5往復、国正線が2往復、九会線が2.5往復、フラワーセンター線は行きが2便、帰りが5便という状況です。また、はっぴーバスは、各線で5〜6往復しています。平成29年度は、1月までの累計で2万3,000人以上の方に利用いただいています。主に通勤通学や医療機関への利用で午前中の便が多くなっています。

**問** 地域主体型交通の取り組みについて。

**答** 地域主体型交通は、民間路線のバスや鉄道、コミバス等の既存の公共交通サービスが行き届かない交通不便地域において、車を使えない方の足として、地域の方々が主体的に運営や運行にかかわる交通システムです。地域の交通課題の解決に向けて取り組むことで、利用者ニーズへの柔軟な対応ときめ細やかなサービスの提供を可能とし、地域に親しまれ利用される公共交通を育ていくことを目的とします。各地域で検討のためのガイドラインとして「地域主体型交通導入手引き」を作成しています。宇仁地区では、平成28度からこの手引きに基づき導入検討のためのアンケート調査を実施し、協議が進められています。

**問** デマンド型タクシーの導入について。

**答** 全国ではさまざまな方法で導入されていますが、それぞれの運行方法には、長所、短所があり、どの運行方法が最適であるかは、人口構成や面積、人口密度、民間の交通事業者の状況等各地域によって全く状況が異なるため、それぞれの事情に応じた運行方法を模索する必要があります。加西市の場合、北条中心に民間バス事業者による公共交通網がひかれており、市街地まで直接運行するタクシー型交通は、既存の公共交通との役割分担を考慮し、慎重に検討を進める必要があります。

### ■その他の質問項目

- ・ 公契約条例の検討
- ・ 入札について

## 地域主体型の子育て支援について



井上 芳弘 議員  
(日本共産党)

**問** (仮称) 泉こども園の統合が決まりましたが、地域では、地域活性化の立場から、何とか残せないかとの議論が引き続きされています。先般も、西脇の芳田地区の認定こども園の見学をされました。西脇市では、地区の区長会等が中心になり、園の運営を行ってきた経緯があり、自分たちもそういう取り組みができないか、また、園の運営が困難でも、子育て支援センター等、拠り所となる場所がつかれないか等の議論がされています。そこで、交付税措置の

活用にあたり、既存の園の除却について猶予期間、また他の目的に使用できないのかお尋ねします。

**答** 公共施設適正管理推進事業債の交付税措置は50%で、猶予期間は、供用開始後5年が限度となり、平成37年3月までに除却することになります。園舎は耐用年数もきており、活用は難しい状況です。

**問** 地域の方は老朽化した校舎で何十年生活してきた経緯があります。今の幼児園の耐用年数は数年あり、耐震基準も大丈夫と聞いています。地域が活用したいという状況になった場合、活用できないか。

**答** 地域の方々に、施設や場所を新たに用意していただく方向でお願いしたいと思います。5年間の猶予はあるものの、いつ

までも残せないと考えています。

**問** 5万人都市再生の提起は、周辺地域も含めた活性化がなければ実現できないという提起だったと思う。まちづくりのあり方として、地域の生活圏をみんなを守って行こうという取り組みは、正しい取り組みだと思う。そういった思いを断ち切ることはしないでいただきたい。

**答** (市長) 宇仁幼児園が残ったという形は、加西市政の進む上で禍根を残すと思っています。子育て支援センターということですが、どのような中で残ったと思われる形があるのか、ないのか議論したいと思っています。

### ■その他の質問項目

- ・ 事業計画と財政について
- ・ 保育料の無料化について 他

## 市長の施政方針について



長田 謙一 議員  
(21 政会)

**問** 加西市の地方創生の方向性は。

**答** 平成27年4月に加西市まち・ひと・しごと創生推進本部を設置し、5月には地域創生戦略を策定しました。その推進にあたり、国主導の全国一律的な施策でなく、地域に潜在する資源を引き出し、地域の活力を生み出し、新たな地域づくりを推進し農業、商工業のさらなる地域活性化を図り、市民が希望を持ち心豊かに暮らすことができる、持続可能な都市の実現を目指しています。

**問** 予算編成の基本的な考え方は。

**答** 歳入については、市税、ふるさと納税等しっかり確保し、また有利な補助金等を活用しながら編成しています。歳出については、適正に執行できるように、過大見積もりとならないよう事業計画を確認し、かつ必要なところには手当をし、市の将来を見つめ重要施策も含めて編成しています。

**問** 中学3年生でピロリ菌検査を実施する意図は。

**答** 集団・団体で検査のできる最後の年であることから、中学3年生で実施します。ピロリ菌が見つかる原因は、親が離乳食を咀嚼して与えることで、親から子供に伝染することが多いと考えられています。子供の集団検診で

の早期発見は、早期予防にもつながるほか、子供が保菌していることで、家族の保菌の可能性も含め、親に認識してもらうことで、胃がんゼロのまちの推進と意識付けにつなげたい。

**問** グリーンエネルギー構想の推進で太陽光発電の規制は。

**答** 平成25年8月に開発調整条例の手続きを実施、平成29年からは県条例で一定の規模以上については、届け出が必要となっており、設置基準も設けている。しかし太陽光発電設備は、建築物とみなされないことで、建築基準法、都市計画法の適用を受けないため、設置において景観、環境、防災など、さまざまな問題があり、山林開発での太陽光発電施設は、他市の取り組みを調査し加西市の実情に応じたルールづくりを研究したいと考えます。

# 市立加西病院の役割と経営の健全化について



土本 昌幸 議員  
(公明党)

**問** 多機能型病院の内容と、それにより収益が改善されるとお考えなのかお伺いします。

**答** これまでの加西病院は急性期医療、つまり発病、発症、そして受傷直後の医療が中心でした。平成 29 年には地域包括ケア病棟をふやし、治療からきちんと回復して在宅へ、また施設へという道筋が今できつつあります。収益については、地域包括ケア病棟、また軽度の患者さんの受け入れで一日当たりの入院料はかなり減少しますが、逆に病床利用率が上が

り、差し引きの収益はふえる計算をしています。

**問** 病床数や人的な内容を含む平成 30 年度中に作成する改革案についてお聞きします。

**答** 平成 30 年度中にこれからの加西病院のあり方、2年、3年先ではなく、10年後ぐらいをまず一つの目安として耐震補強も含め、施設のあり方、病床規模、そして診療科の内容、これは神戸大学とも情報交換を行い、どの診療科が維持できるのか、医師の確保はできるのかということを担当しながら、新しい病院の姿を決定していきたいと考えています。

**問** 繰入金について9億円以内は認められるとのことですが、将来の加西市の状況を考慮すると、相当圧縮する必要があると思われるが見解をお聞きします。

**答** 近隣の急性期病院、また設備、機能等、医療環境が、20年程度前から大きく変化しています。この環境を受け入れながら加西病院の果たすべき役割を考え、できるだけ効率的に、繰入金を抑えられるよう運営することをまず目指したいと考えます。

(市長) 病院ですが、これは皆さんからご指摘いただいているとおり、時間の猶予は全くありません。早く今必要とされる形をつくること、そして長期的にしっかりどうしていくのかを確立したいと思っています。

## ■その他の質問項目

- ・ 学校教育の充実
- ・ 新産業団地整備事業
- ・ 健康づくり

# 介護予防・高齢者の健康増進（いきいき体操）について



丸岡 弘満 議員  
(自民の風・誠真会)

**問** 高知市発信の「いきいき百歳体操」と加西市オリジナル介護予防体操「いきいきサルビア体操」を組み合わせた「かさいきいき体操」は、現在、どれだけ実施されているのか。小野市は平成 26 年に 2 力所で始まり現在 50 力所。登録者数も 1,000 人を超える状況だが、1 年間の立ち上げ数と将来何グループを目標としているか。

**答** 平成 28 年度に 12 グループが立ち上がり、現在 28 グループ。30 年度は、18 グループ

の立ち上げを目標としています。最終目標は、歩いて行けるところに集いの場が多くできればと考えています。

**問** 体操のリーダー連絡交流会ではどのような意見や要望等が出たのか。この意見要望に対して今後見直し等の考えは。

**答** 20 グループの方が参加。運営面や指導面での内容、参加の状況や参加による効果などいろいろな意見があり、平成 30 年度以降も対象グループの定期的な連絡会、交流会を継続して効果検証します。また、日ごろから体操やレクリエーション等の相談ができる体制を考えています。

**問** 結果の集計、各個人や団体の数字は把握して集計できているのか。今後の高齢化を見据えて介護費や医療費削減等を目標

して各課でいろいろな運動事業をされているが、課を越えての情報交換、連携は図られているのか。

**答** 健康に取り組むのは健康課、高齢については長寿介護課、医療面から考えると国保医療課というふうになんか意味で連携をとる必要があります。今現在、かさいきいき体操による効果は、まだ各課間の情報共有ができていませんが、団体がふえていく中で共有化は必要であり、より効果をもたらすことができるので、平成 30 年度以降は連絡や情報共有を図りたいと考えます。

## ■その他の質問項目

- ・ 市職員の働き方改革について
- ・ 教育について
- ・ 旧市街地空き家等活性化モデル事業について

# 行政視察実施報告

各委員会が行政視察を行い、それぞれの所管事務について先進地の事例を学びました。

## 建設経済厚生委員会

**日程** 平成 29 年 10 月 25 日 (水) ~ 26 日 (木)

**視察先** ・山口県光市  
・農事組合法人ファームおだ  
(広島県東広島市)

### ◇山口県光市

**視察項目** 農業振興拠点施設「里の厨」の運営について

#### 内容

里の厨は、平成 17 年から地産地消プランの策定、直販施設基本構想の策定など約 5 年間の準備を土台にして平成 23 年にオープン。同施設周辺地域は中山間地の小規模・兼業農家の多い中、市町合併によるさらなる衰退が危惧されていましたが、現在では周辺農家を中心に、297 人(平成 28 年度末)の組合員による、里の厨事業協同組合を組織して運営されています。直販事業・加工事



業・体験研修事業・レストラン事業など活発に展開されています。

### ◇農事組合法人ファームおだ

**視察項目** 「農事組合法人ファームおだ」における 6 次産業化及び経営の多角化の取り組みについて

#### 内容

農事組合法人ファームおだのある東広島市の小田地区は、13 の小規模集落で 213 戸の世帯からなっています。小学校、保育所、療養所の廃止や高齢化など集落崩壊の危機感から、まちづくり組織として、全住民参加の自治組織「共和の郷おだ」が設立されました。さらに、農業に関わる部会を発展させ実働組織「ファームおだ」として活動しています。土づくりに力を入れた水稻栽培を中心に、耕畜連携による有機栽培米の米粉を使った米粉パン工房を運営するなど農業の 6 次産業化にも取り組まれています。



## 総務委員会

**日程** 平成 30 年 1 月 30 日 (火) ~ 31 日 (水)

**視察先** ・福岡県筑前町  
・福岡県古賀市

### ◇福岡県筑前町

**視察項目** 大刀洗平和記念館の運営状況と記念館を活用した児童等の平和学習について

#### 内容

大刀洗平和記念館は、平成 21 年に開館。大正以来の広大な飛行場の発展と「軍都」としての歴史や昭和 20 年の大空襲などの背景がある。航空技術の発展史、戦地からの手紙、遺書などを展示。飛行場に関連する資料の収集に努めるとともに、定期的な企画展などにより命の尊さや平和の大切さを啓発しています。



### ◇福岡県古賀市

**視察項目** 日本一通いたい・通わせたい学校をめざす取り組みについて

#### 内容

古賀市では、「日本一通いたい・通わせたい学校」を合い言葉にさまざまな支援事業を展開しています。まず、1 年間を前期(4 月~10 月上旬)と後期(10 月中旬から 3 月)の小中学校 2 学期制を実施しており、事務的な仕事の削減による授業時間の確保やゆとりの創出にもつながっています。通知表の評価は 2 回になりますが、夏休みの家庭訪問や個人面接、各種通信によりこれまで以上に家庭とのつながりを重視しています。何より、長期的な児童生徒の評価が可能になります。その他さまざまな補助教員の配置、不登校児童生徒の支援などのほか、早朝の自主学習と学習後のおにぎり等の提供がボランティアの保護者等によって行われるなど地域とつながりのある活動も行われています。



※ 詳細は加西市議会ホームページでもご覧いただけます。

# 市議会トピックス

## ■平成 29 年度 政務活動費収支報告

議員の調査研究に資するために必要な経費の一部として、議員 1 人当たり年額 10 万円を会派に対し政務活動費を交付しています。(なお、残額は年度末に返還します。) 政務活動費収支報告書・調査研究実施報告書・領収書等の資料は、市役所 1 階総合案内横の専用カウンター及びホームページにおいて常時公開しています。

会派	交付額	支出済額		残額	執行率	支出項目					
		政務活動費	自費			研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費
21政会 (8人)	800,000	352,050	0	447,950	44%	0	352,050	0	0	0	0
自民の風・誠真会 (4人)	400,000	223,296	2,430	176,704	56%	0	225,726	0	0	0	0
日本共産党 (1人)	申請なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
公明党 (1人)	100,000	0	0	100,000	0%	0	0	0	0	0	0
市民連合 (1人)	100,000	99,200	810	800	99%	0	64,934	0	35,076	0	0
合計	1,400,000	674,546	3,240	725,454	48%	0	642,710	0	35,076	0	0

## ■ 請願・陳情について

請願書・陳情書はいつでも提出できますが、受付日によって審査が次の定例会になることがあります。  
6月定例会での取り扱いを希望される場合は、平成 30 年 5 月 25 日(金) 17 時までにご提出ください。

## ■ 平成 30 年 6 月 加西市議会定例会の予定

月 日	時間	会 議
5 月 28 日(月)	10:00	議会運営委員会
	11:00	議員協議会
6 月 4 日(月)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(提案説明等)
6 月 6 日(水)	15:00	発言通告期限(質疑・一般質問)
6 月 12 日(火)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(質疑・一般質問)
6 月 13 日(水)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(一般質問)
6 月 14 日(木)	10:00	建設経済厚生委員会
6 月 15 日(金)	10:00	総務委員会
6 月 21 日(木)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(最終日:委員長報告・採決)

ぜひ傍聴にお越しください!



インターネット  
議会中継  
(ライブ・録画)

加西市議会

検索



発行 加西市議会  
編集 議会だより編集委員会

〒675-2395 加西市北条町横尾 1000  
[TEL] 0790-42-8790 [FAX] 0790-43-1810  
[email] gikai@city.kasai.lg.jp

議会だより編集委員会

委員長 森元清蔵  
委員 植田通孝  
委員 三宅利弘

副委員長 井上芳弘  
委員 松尾幸宏  
委員 森田博美